

令和7年度 地域子ども・子育て支援事業の状況(19事業)

見本(記入例)

A : 計画より進んでいる B : 計画通りに実行
C : 計画より遅れている

令和8年2月5日(木)
令和7年度第2回子ども・子育て会議
資料⑥-1

3章：計画の基本的な考え方の中での位置づけ	主な取組み	担当課	事業内容	確保方策	R7年度計画値	実績値						進捗状況評価	評価の理由(令和7年度)	令和8年度以降の課題	
						項目	R6年度	7年度	R8年度	R9年度	R10年度				R11年度
1-(2)相談支援・情報提供 1-(4)児童虐待防止対策	(1)利用者支援事業	子育て支援課 健康課	【こども家庭センター型】 ○母子保健と児童福祉が連携し、妊娠期から始まる一体的な相談支援体制として、こども家庭センターを設置します。虐待(身体的・心理的・ネグレクト・性的)、子育てに関する心配や不安、ヤングケアラー、ひきこもり、非行など親子のあり方やこどもの育て方を共に考え、問題をどう解決するかについて援助します。 ○学校、香川県西部子ども相談センター、警察をはじめ関係機関との連携強化を図ります。	量の見込みに見合う必要量の確保に努めていきます。	1か所	実施か所数/か所	1	1					B	子育て家庭の身近な相談窓口として、子育てに関する相談・情報提供を行うとともに、出張相談なども実施した。	関係機関との円滑な情報共有と支援体制の向上を図る。
		子育て支援課	【基本型】 ○身近な場所において、支援を必要とする家庭と早期に関わることができるよう努めます。 ○利用者の個別ニーズを把握し、相談や情報提供、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業実施施設などとの連絡・調整を行い、各種事業の利用支援などを行う利用者支援事業の充実、子育て世帯と継続的につながり、支援を行える体制の整備を図ります。		13か所	実施か所数/か所	2	13					B	出産子育て応援交付金事業における伴走型相談支援体制を構築し、妊娠届出時、出生届出時には全数把握を行った。また、妊娠6~7か月にはアンケートを取り、希望者には面談を実施。妊娠期から継続的な支援を行うことで、早期から子育て家庭に寄り添えるよう努めた。	妊婦等包括相談支援事業における伴走型相談支援体制の充実を図り、支援を必要とする家庭に早期から継続して関わることができるよう努める。地域の身近な相談相手として、母子保健推進員や愛育班と連携し、地域ぐるみの子育て支援体制の充実を図る。
1-(3)地域における多様な保育ニーズ等への対応	(2)子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ)	子育て支援課	○保護者の病気や仕事などの理由により、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合に、児童養護施設などにおいて一定期間、養育・保護を行います。利用者の要望に適切な対応ができるよう施設との連携を強化し、事業体制を整備します。	利用者の希望に沿うよう利用調整を行い、受入先の確保に努めます。	4か所	実施か所数/か所	4	5					A	新たに1施設が事業を開始し、受け入れ可能人数が拡大するとともに利用者の利便性が向上した。	申請があった場合に契約施設と連携し、利用者の要望に応じていく。
					150/人日	ショート 延べ利用日数/人日	77	100							
					60/人日	トワイライト 延べ利用日数/人日	37	50							

評価の指標となる数字を記入

事業内容と実績値を含めての評価

進捗状況評価の理由を記載